

令和8年度 第1回 高萩北地区学校運営協議会 会議録

会議の名称	第1回 高萩北地区学校運営協議会
日時	令和8年5月13日 15:00~16:30
場所	高萩北小学校 会議室
公開・非公開	公開
非公開理由	
出席者	杉山 博行、小泉 敬子、高沢 次男、松田 征彦、永島 龍二、藤井 枝里、 齊藤 宏美、新 晴美、内藤 将智、林 聖子、小坂井 啓二、志村 憲一
欠席者	土屋 礼子、湯本 考一
説明員	
事務局	初野 聡子、橋本 孝史、保坂 龍太、川北 洋
傍聴者	0人
所管課	学校教育課 学校
議題及び 決定事項等	1 高萩北小・中学校学校経営方針の承認 2 令和8年度の取り組み
会議資料	1 高萩北小・中学校 学校経営方針 2 高萩北小・中学校 学校だより
会議の概要	<p>1 委嘱状交付</p> <p>2 挨拶 日高市教育委員会 学校教育課 参事 志村 憲一 以前BJの立ち上げ時、北小でお世話になった。 そのころから温かい地域。 市内の活動が他自治体から注目されている。 皆さんのたくさんの愛情のおかげ。 教育委員会としても支援したい。</p> <p>日高市教育委員会 学校教育課 指導幹 小坂井 啓二 過去、教員の始めと終わりが北小だった。 今後も応援したい。 R6,7年度の研究委嘱は市内の活動を紹介しただけ。 皆の力が日高市を作っている。 誇りにして今後も盛り上げてほしい</p> <p>3 会長、副会長の選出 会長…杉山 博行 副会長…小泉 敬子、高沢 次男</p> <p>4 自己紹介 5 協議</p>

(1) 高萩北小学校、高萩北中学校 学校経営方針の承認

【北小】

林・経営方針の内容を説明

(質疑)

松田・現在、同和教育どういう視点に立って行っている。

→林・同和教育について、わからない教職員もいる現状。

松田・「同和＝地域のこと」と認識している。わざわざ教える必要があるのか。同和教育とは、どういった部分を指すのか？

→林・差別をなくすことを同和教育と認識している。

杉山・「寝ている子を覚ます必要があるのか。」という考えもある。指導への配慮が必要。教育委員会としての認識は？

→志村・法律の変更により、同和教育から人権教育となった。

忘れられてしまっている部分もある。しかし、現在も結婚の問題で直面している人がいる差別をなくす視点を育む意味で大事にしている。

→小坂井・児童が正しく理解する必要。

杉山・ほっておくと大変なことになりかねない。配慮して教育に当たってほしい。

松田・なんでも言い合える職場づくりは、大切なこと。

良い結果を生む土台となる。子供たちへの影響も大きい。ぜひ、力を入れてほしい。

杉山・経営方針について、どのように周知していくのか。

→林・本校のHPに掲載する。

杉山・職員にどのように伝達し、理解されているのか

→林・本年度初日の職員会議で指示、伝達事項として説明している。

【北中】

内藤・経営方針の内容を説明

(質疑)

松田・ふるさと科は、どんなことに取り組むのか。

→内藤・日高市のことを知り、愛してほしいという思いで学習を進めている。各学年でテーマを設定し、探究している。今年度は、小学生を招き、発表会を行う予定。

松田・地域での行事（お祭りなど）について、どんなことをやっているのか調べるのがふるさと科につながるのではないか。調べて地域のことを知ってほしい。また、教職員にももっと地域のことを知ってもらいたい。

杉山・地域のことを知っている人材を大切に、生かしてほしい。

杉山・教職員の働き方改革の数値目標が打ち出されているが、難しい課題だと受け取る。「絵にかいた餅」にならないように教職員で話し合い、進めてもらいたい。

→小坂井・この学級運営協議会は法律に位置づけられて行われている。その中で、働き方改革も取り扱うようになる。

杉山・その都度状況を説明してもらい、フォローアップをしていく。

林・働き方改革の現状の説明

杉山・職員の意識改革が前提となる。

松田・部活動の地域移行もかかわってくる。

高沢・中学校の時間外勤務が多いのは部活、進学が影響していると認識するが、細かい部分の現状は。

内藤・部活動が影響しているのは、事実。最終下校時刻を早めた。その分、授業準備に時間を割いている教職員もいる。しかし、自己研鑽の時間は勤務時間とは、していない。

永島・どうやって管理しているのか。

→林、内藤・タイムカード

内藤・保護者の対応にも時間を割いている。

志村・部活動の地域展開についての説明

→松田・日高市全体で考えないとできないと考える。

小坂井・武蔵台は先行して地域として進めているが、今後、市として検討し、進めていく。

齊藤・移動手段が問題になるのではないか。

小坂井・登下校の安全を守ることを含めて、「保護者が、どう責任を持つのか」という視点が肝となる。

杉山・保護者の意識改革が必要。

松田・保護者のCSの自体の認識が薄い。

高沢・忙しい中での見つけた時間を割いてほしい。その意識のレベルを高めてもらいたい。

齊藤・地域で自分の子供を育てているという認識を保護者が持ってほしい。

杉山・今後の協議会の課題として検討していく。保護者から出てきた課題を話題として協議したい。どんどん声を上げてもらいたい。

(2) 令和8年度の取り組みについて

杉山・保護者、教員への小中一貫教育について積極的にPRをしてもらいたい。1年を対象に昔遊びの支援に関われそう。

小泉・ボランティアの依頼をするためにできるだけ早く募集を周

知したい。

6 今後の運営協議会の予定の確認